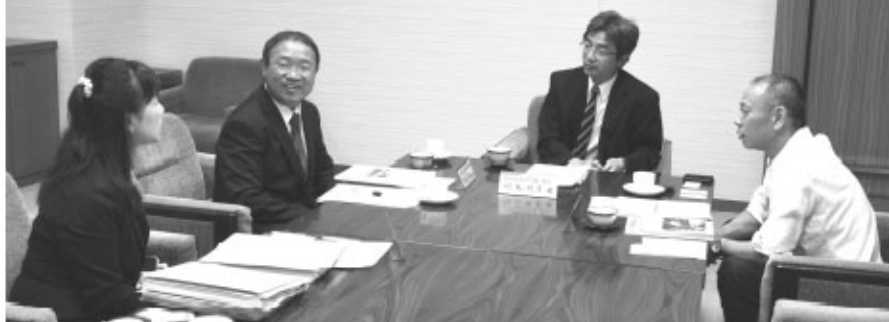


# 豊かな心を育むために

—これからの道德教育の在り方を考える—



司会者

竹本 明彦 (熊本市立唐日中学校 校長)

出席者

合場 孝之 (石川県立大聖寺高等学校 教諭)

鶴岡美津代 (金沢市立大徳小学校 教諭)

井川 徹 (金沢市米泉公民館 館長)

竹本 道德教育は、いわゆる「教科化」に関わる議論を経て、本年3月27日に学習指導要領の一部を改正する告示が公示されました。これによって、「特別の教科 道德」は4月1日から、その一部または全部を実施することが可能となっています。本校は全日本中学校道德教育研究会・石川大会の会場校ということと、今その研修や研究を進めているところです。

井川 金沢市米泉公民館の館長をしております。子どもは3人いまして、上の娘2人が社会人、下の息子が大学生です。これまでに錦丘高校のPTA会長、米泉小学校の育友会会長をさせていただきました。

合場 大聖寺高校数学科教諭の場合です。高校では

ております。

竹本 いじめの問題は大きな社会問題となっております。その中で子ども達の道德性について問われています。今日は小・中・高校、そして地域の方と共に考えてみたいと思います。

まず、小学校の子ども達のいじめ問題に関わる道德性について、どのような実態ですか。

## ■ 子ども達の道德性について

鶴岡 本校では年2回の道德アンケートを実施しております。1回目は5月に実施しました。2回目は10月下旬の予定をしております。その道德アンケートの項目にいじめに関する項目があります。

『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思おう』という項目です。肯定的な回答、『そう思う』『とてもそう思う』について、5年生で96・8%、6年生も93・6%ということと、子ども達はいじめはいけないことだということには十分に理解できているのではないかと捉えることができます。ただ、日常生活の中で道德的な美徳力となっているかどうか



鶴岡美津代さん

道德の授業はありませんが、学校教育全体を通じて取り組むことになっております。しかし、なかなか意識できずに仕事に追われているという状態です。今日のお話を今後の道德教育に活かしていきたいと思えます。

前任校の小松工業高校では、文科省の指定を受け、「人間としての在り方生き方を考える」をテーマに道德教育の研究事業に取り組みました。

鶴岡 金沢市立大徳小学校の鶴岡です。本校は昨年度からいしかわ道德教育推進事業指定を受けて、今年2年目の研究になります。私も道德は全く不勉強ですが、道德教育推進教師ということになって、道德の研究に取り組みました。

大会が輪島市でありまして、そこで美談の発表を

させていただく機会を得ましたが、不勉強を痛感しています。今日はいろいろと教えていただきたいと思っ